

巻頭言 「戦略」

「ネット副会長

勝島敏明

(直江津天王町出身)

赤々と燃える太陽が日本海の大草原に沈み行く夕日の美しさ。そして厳冬の荒れ狂う灰色の日本海、わがふるさとの海岸から見る風景である。上

越(直江津)に生を受け既に齡六十の半ばを過ぎたわが人生であるが、幼少の頃見たふるさとの情景は鮮やかに臉に刻まれている。他人によつては心身と降り積もる雪景色であつたり、スキーを楽しむ光景であつたりすることだろう。

わがふるさと上越市は本年はじめより新たに十三町村が加わり、きわめて大きな市として生まれ変わった。市長はじめ関係各位のご努力のおかげで、全国でもっとも成功した市町村合併と言つて、評判である。我々外からの応援団としては誠にうれしい限りである。市民がこそって満足に行く市政の運営と全ての面で「美しい」町作りに期待したい。我々が従来にもまして誇りを持って、ふるさと上越市を語れるようになって欲しいと思うの

は私一人でしょうか。市長はじめ関係者の更なるご活躍に期待するところ大である。

さて、最近読んだ本に「史上最大の株価急騰がやってくる!」(増田俊男著)という、タイトルだけ見ると極めて下世話な感じのするものである。しかし、内容は極めてまじめで、新鮮な、そして私の気のつかなくつたことを知らしめてくれるものであつた。アメリカの世界制覇に掛ける壮大な戦略を著者の経験と観察から明らかにしているのである。二〇〇二年九月十七日に発表された『アメリカ国家安全保障戦略』は、二十年戦争のシナリオである。アメリカがどのようにして世界制覇を目指していくか、具体的な方針が示されている。ネオコン系シンクタンクが立案したこのシナリオは、「ブッシュ・ドクトリン」とも呼ばれる。アフガニスタンやイラクへの侵攻と戦後処理は、このシナリオに則つて行われている。」とか「アメリカ

は…テロ支援国家の政権を転覆させて第二基軸通貨を目指すユーロを封じ込めた。」といった記述があり、要するにアメリカは世界の基軸通貨であるドルで取引をし決済をすることで、世界の経済はドルを中心に回ることから、ドルは決して弱くならないと言っているのである。また、アメリカは世界の全ての国を民主主義にするべく二十年の戦略をたてており、それが実行に移されているとのことである。アフガンやイラク侵攻を見るところなすけるような気がするのである。数々の資料と分析で述べられており、説得力があるのである。

そこで翻つて、わが上越市にとつても「戦略」が重要になるのではないかと思う次第である。どのような戦略を立てて実行するかは、とりもなおさず、市長の手腕に掛かっていると思うのである。改めて市長に期待したい。我々「ふるさと上越ネットワーク」の会員一人一人がふるさとへの思いを込めて、大きな声援を送るうではありませんか。

